



輝け！北っ子！

文責：校長 大内雅之



1学期終了 ～有意義な夏休みに～

今日で1学期が終了しました。保護者の皆様には大変お世話になりました。そして、子ども達を無事に保護者の皆様のもとにかえせること、少しホッとしています。1学期の登校日数は「72日」。新型コロナウイルス感染症の分類変更等に伴い、対応の変化等もありましたが、大きな混乱も学校内での再拡大もなく乗り切れたことは大変うれしく思っています。

1学期を振り返ると・・・4/21に北小は学校創立150周年を迎えました。児童集会や記念の運動会、卒業アルバム展示会などの企画行事も楽しく行うことができました。その他の行事もコロナ禍前の活動を意識しながらも、これからの時代に合った形を模索しながら予定通り行うことができました。保護者の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

子どもたちは本当によく頑張りました。今年度の学校の活動指針「子どもたちが、自分たちの力で一主体性の伸張一」のもと、+αの気持ちを持ち、自分たちで物事を切り拓くことを意識しながら活動に取り組んでくれたように思っています、

子どもたちが頑張った日々の学習・生活はもちろん、様々な活動、体験には大きな意味・価値があることは明白です。しかし、当たり前すぎて、あまり意識しないことかもしれませんが、「生きていること」「命をつないでいること」そのものが一番の頑張りだとも思っています。無意識であったとしても生きていることはそれだけで価値のあることだと思っています。

本日のテレビ放送による終業式では、1学期について振り返った後、夏休みに向けて子ども達と約束を交わしました。これまでの長期休業時と同じことの繰り返しです。約束は単純ですが、大変重いものです。それは、「**死なないこと**」

夏休みは楽しい期間であるべきにもかかわらず、毎年繰り返される子どもの事故。交通事故、海や川・山の事故、火事、不審者・・・ちょっとした心の隙・ゆるみが大きな事故に結びついてしまうこともあることを話しました。そして、事故に遭いたい、死にたいなんて思っていた子は誰もいないことを話しました。「おはよう」といったら必ず「おやすみ」、「行ってきます」といったら「ただいま」という当たり前の日常を大事にすることを話しました。当たり前と思っていることは実は当たり前ではなく、突然なくなってしまうことだってありえることを伝えました。

「後悔先に立たず」

教師が、保護者が、子どもを取り巻くすべての大人がアンテナを高くし、配慮すべきことはしっかりと配慮することで防げることは何としても防がなければなりません。夏休みは、学校では経験できないようなことにじっくり取り組める時間でもあります。その分、自由度や危険度は上がるとも言えます。有意義な夏休みになりますように、どうぞよろしくお願ひします。

また、新型コロナウイルス感染症の再拡大も懸念されています。自分の命、大切な人の命を守るための行動にむけてご家庭でもお話ししてください。

※夏休み期間でありましても、新型コロナウイルス感染症にかかった場合は必ず学校に連絡をお願いします。



1学期間、大変お世話になりました。有意義な夏休みを・・・。

【学校連絡先】 ■平日・日中－学校 0243-23-0029 ■休日・夜間－学校携帯 080-2814-4808

■子どもたちの命を守る観点から、自転車乗車時には「ヘルメット着用」を■